平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	文化財課担当課長	吉田 宗一
文財-01 財産管理事務		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課 文化財課 関連課	
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営

1 事業の目的

2 平成26年度に実施した事業の概要

対象	市有財産等	野村総合研究所跡地の管理を行い、市民向けに一般公開した。
意図	財産管理に係る運営事務を行うとともに、土地等の売り払い等による収入を確保し、公共公益施設整備基金への積立てを行うため。安定的な財政運営を図るために、財政調整基金に積立てを行うため。	
効果	普通財産土地等を良好な状態で維持管理するとともに、売り払い等による収入の確保を図る。財政の安定的な運営を図る。	

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	データ区分		データ区分		
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	当初予算(千円)	3,648	決算値(千円)	2,839	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	502	その他	422	
	一般財源	3,146	一般財源	2,417	
	人員配置数	1.0	人員配置数	1.0	
事業経費運営	人件費(千円)	7,812	人件費(千円)	7,654	
	総事業費(千円)	11,460	総事業費(千円)	10,493	
	市民1人当りの経費(円)	65	市民1人当りの経費(円)	59	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	建物の老朽化、損壊、自動火災報知機や消火設備に不具合が生じており、安全上問題がある。敷地内の樹木や竹林等が荒廃し、近隣住民や利用者からも適正な管理を求められているが、敷地が広く、現在の予算規模では十分な対応ができない。		
課題解決のために行った平成26年度の取組	委託及び直営により危険木、支障木の伐採を実施した。竹林管理についてはボランティアを募集し、27年度以降はボランティアを活用した管理を実施することとした。	☐ 解決 ☐ 一部解決 ☒ 未解決	
未解決の課題 新たな課題	倉庫的に使用している建物に消火栓等の設備がない。敷地内及び敷地外に延びる危険木、支障木の伐採が不十分である。子育て団体から駐車場等の安全管理を強く要望されているが、十分な対応ができていない。		
効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	1. 統合できる	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか 今後も市が実施すべき事業か	2. 廃止・休止による影響は小さいがある 5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある	
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	1. 事業の方向性や手法も見直す必要があり、貢献できていない	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-負担未導入 △-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある	
	協働：市民等と協働して事業を展開しているか	○-協働実施済 協働実施済の場合のパートナー 市民ボランティア等	
事業内容の方向性	☒ a: 事業内容を見直す → ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直し類の ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ その他	見直しの 野村総合研究所跡地の、より有効な利活用方法を検討した上で、所管の見直しを行う必要がある。 事業へ統合
予算規模の方向性	☒ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 暫定利用が続いている野村総研跡地の利用のニーズは高まっており、跡地全体の有効な維持管理及び利活用を進めて行く必要がある。	
総評	建物は文化財課以外の課も倉庫的に利用し、また、グラウンドや広場など多くの市民が利用している。管理の所管を見直すとともに、跡地の今後の利用について、改めて検討を進める必要がある。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	敷地の一般開放					単位	日	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
活用の方向性が定まるまでの暫定的な措置として、市民等への一般開放を進めるため。	目標値	362.0	362.0	362.0	362.0	362.0	362.0			
	実績値	362.0								
	達成率	100.0%								
指標の内容	撮影等への協力					単位	回	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
暫定的な措置として、現状での利活用を進めるとともに、撮影等協力に伴う収入を確保するため。	目標値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0			
	実績値	4.0								
	達成率	80.0%								
指標の内容	ボランティアの活用による竹林等の維持管理					単位	回	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
市民協働による敷地の適正な維持管理を進めるため。	目標値	0.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0			
	実績値	0.0								
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方										

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---